

事務事業実績測定調書

R4調書番号 315

事務事業名称	公立保育所民営化事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名	15-2.保育環境等の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2002(H14)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	民営化の検討対象となる公立保育所。			
	サブターゲット	府内で保育所等を運営する社会福祉法人(民営化の運営法人)。			
	ターゲットが抱える課題	保育所運営や、施設の老朽化対策、子育て支援事業などに係る財源の確保等。民営化に対する保護者等の理解。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公立保育所の民営化を進めることにより、国・府からの財源を確保し、各種子育て支援施策に活用し、ひいては子どもが健やかに成長できる環境づくりにつながっている状態。				
事業概要	就学前の教育・保育施設に係るひらかたプランに基づき、民営化の取り組みを進める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
	各種子育て支援施策に活用し、ひいては子どもが健やかに成長できる環境づくりにつながっている。	公立保育所の民営化を進めることにより、国・府からの財源を確保する。	平成30年11月に策定した「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン」に基づき、公立施設の地域バランスも踏まえながら更に民営化を進める									
指標設定	指標説明	民営化後の保護者アンケートにおいて、現状に満足している割合 【算出式: 保育に満足している世帯数/アンケート回答世帯数×100】	公立保育所民営化に伴う経費削減額	公立保育所民営化実施件数								
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標								
	指標数値	単位: %	単位: 千円	単位: 件								
	達成度	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5								
目標(見込み)	0 100 100 100	0 81,450 168,300 383,350	0 1 1 1									
実績	0 81 65	0 97,721 202,018	0 1 1									
達成度	65%				120%				100%			

3. 人員体制

	(人)
R4実績	
正職員	1.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	6,380	11,786	12,499		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	409	256		
	人件費計	6,380	12,195	12,755		
	物件費計	206,894	15,822	111,579	115,633	96.5%
歳出計		213,274	28,017	124,334		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	161,900	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	161,900	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		44,994	15,822	111,579	115,633	

5. 総括的分析

総括的分析	「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン」及び「行財政改革プラン2020」に基づき、令和5年4月の阪保育所民営化、令和6年4月の桜丘北保育所の民営化に向け取り組んだ。阪保育所は保育の引継ぎを行うとともに施設整備に着手した。また、桜丘北保育所については運営法人を決定した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、令和5年度の阪保育所、令和6年度の桜丘北保育所の民営化に向け、取組みを進めていく。

事務事業名称	産休等代替職員補助事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市産休等代替職員費補助金交付要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内の保育所(園)の保育士等の中で出産又は傷病を理由として長期休業せざるを得ない者			
	サブターゲット	雇用する保育士が出産や傷病で長期休業する施設 枚方市内の保育所(園)へ入所している児童			
	ターゲットが抱える課題	市内の保育所(園)の職員が、出産又は傷病を理由として長期休業する際、施設を離職せざるを得ない。			
	ターゲットが抱える課題	保育士が出産や傷病で長期休業することで、その間、代替として保育を行う保育士の確保が困難であり、加配職員の減少等、子どもへの保育に影響が出るおそれがある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	代替保育士等の賃金相当分を施設へ支援することで、当該職員が休業がしやすく、施設でも代替保育士等を確保しやすい環境になり、保育士等の処遇改善や安定して良好な保育環境が確保されている状態。				
事業概要	児童福祉施設等の職員が出産や傷病で休暇を取得する際に、施設に対し、代替職員に必要となる費用を支援する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	保育士等の処遇改善や安定して良好な保育環境が確保されている。				アウトプット (活動結果)	職員の休暇中、代替職員によってすべてカバーできている。				インプット (活動)	代替職員の費用支援を行うことで、児童福祉施設等の職員が出産や傷病等で休暇を取得しやすい環境を整備する。			
	指標説明	離職しなかった人数 【算出式:継続して勤務している人数/補助対象となった人数×100】				職員の出産や傷病による休暇中における、代替職員によるカバー率 【算出式:補助実績日数/補助申請日数×100】				産休及び病休の代替職員費補助金の補助申請日数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	100	100	100	100	100	100	100	100	331	331	331	331		
	実績	100	100	100		100	100	100		130	145	217			
達成度	100%				100%				66%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.05
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	399	393	391		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	399	393	391		
	物件費計	779	869	1,285	2,214	58.0%
	歳出計	1,178	1,262	1,676		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	779	869	1,285	2,214	

5. 総括的分析

総括的分析	職員の離職率及び代替え職員のカバー率は、想定どおりであった。また、申請日数においては、想定より下回ったものの、前年度の145日と比較し、217日へと増加していることから、職員の良い保育環境の維持、向上ができていていると考えられる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き事業の啓発に努めるとともに、産休や病休の取得しやすい環境整備を促進する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 318

事務事業名称	子ども・子育て支援法に基づく給付事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
関係補助金名称		サンセット		～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	支給認定子どもに対し、教育・保育を行う施設関係者			
	サブターゲット	支給認定子ども			
	ターゲットが抱える課題	教育・保育を行う施設の安定的な運営の維持。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	教育・保育を行う施設の安定的な運営を維持することで、児童の健やかな成長を促す教育・保育環境が確保されている状態。				
事業概要	各施設に対して教育・保育の実施に係る運営の費用を給付する。 国・府へ負担金の請求及び実績報告をする。 平成29年度に創設された新たな処遇改善加算適用について、令和5年度から研修修了が必須となることに際して、令和4年度から市主催のキャリアアップ研修を実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		教育・保育を行う施設の安定的な運営を維持することで、児童の健やかな成長を促す教育・保育環境が確保されている。	教育・保育を行う施設に対し、運営に係る費用を適切に給付する。
指標設定	指標説明	各施設の利用延べ人数	給付の対象施設数
	指標種類	単位 人	単位 施設
	指標数値	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	目標 (見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	104,416 116,007 117,885 120,645	63 65 64 66
達成度	89%	100%	

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	2.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	16,748	18,857	21,874		
	会計年度任用職員	2,324	2,959	2,720		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	19,072	21,816	24,594		
	物件費計	9,162,685	9,319,821	9,536,896	9,802,165	97.3%
	歳出計	9,181,757	9,341,637	9,561,490		
歳入	国庫支出金	4,058,396	4,183,399	4,409,522	4,458,184	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	1,897,538	1,899,703	1,935,854	1,991,604	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	325,324	1,626	1,326	1,332	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	6,281,258	6,084,728	6,346,702	6,451,120	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	2,881,427	3,235,093	3,190,194	3,351,045	

5. 総括的分析

総括的分析	各施設が提供した教育・保育の運営に係る費用(私立保育所69,876人、私立認定こども園31,381人、私立小規模保育事業実施施設1,610人、私立幼稚園2,337人)を適正に給付することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正に事務を行う。

事務事業名称	病児保育事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名	15-2.保育環境等の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1979(S54)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市病児保育運営要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	普段は保育所に入所もしくは一時保育等を利用しているが、病気またはその回復期で、集団保育が適当でない児童の保護者			
	サブターゲット	普段は保育所に入所もしくは一時保育等を利用しているが、病気またはその回復期で、集団保育が適当でない児童			
	ターゲットが抱える課題	保護者の就労等のため保育の必要性があるが、子どもの疾病等の際に保育所等を利用することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保育所や認定こども園等に入所している児童が病気又はその回復期にあるときに、保護者の就労が理由で家庭での保育ができない場合、病児保育室で保育の提供子どもが病気又はその回復期にある場合も、仕事を休めないなど保育が必要な保護者が、病児保育室での保育の提供を受けることができる状態。また、病児保育室が把握している感染症流行情報や予防策の情報を、保育所等を通じて保護者や子どもに発信することで、感染を未然に防止することができる状態。				
事業概要	市内に居住し、保育所(園)等で保育されている児童を対象者に、枚方市病児保育室(市立ひらかた病院)、枚方病児保育室くるみ((医)保坂小児クリニック)、ピッコロケアルーム((医)田辺こどもクリニック)、クオレ((医)にしだ小児クリニック)の市内4ヶ所の病児保育室で実施。利用前に各クリニック等の受診が必要。 平成28年4月から、市内在住の児童を優先して受入れを行ったうえで定員に達していない場合に限り、市内に勤務している保護者の子どもについて受入れを拡大している。 また、令和4年4月から、新型コロナウイルスなどあらゆる感染症に備え、個人による感染防止行動を促し、ひいては地域における感染拡大防止に寄与することを目的として、病児保育室が把握している感染症の流行情報や予防策の情報を、保育所(園)等を通じて子どもたちに発信する事業を実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	実際に、子どもの病気又はその回復期にあるが、仕事を休むことができない保護者等が病児保育事業による保育の提供を受けることができる。 保育所等を利用する保護者や子どもが、感染予防の行動をとることができる。				アウトプット (活動結果)	子どもの病気又はその回復期で、集団保育が適当でない児童の親が、病児保育室に預けられる機会の提供。 病児保育室が把握している感染症流行情報や予防策の情報を、市を通じて保育所等を利用する保護者や子どもに発信する。				インプット (活動)	市内の小児科への委託及び市直営により病児保育事業を実施する。 委託内容に、「病児保育室が把握している感染症流行情報や予防策の情報を市へ提供する」という項目を追加する。			
	指標説明	病児保育室の利用者人数 (第2期子ども・子育て支援事業計画の目標事業量)				病児保育室における年間延べ受け入れ可能枠(定員×開室日数)				病児保育室開設数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	実績	3,777	3,672	3,588	3,515	6,579	6,579	6,579	6,579	4	4	4	4		
	達成度	75%				100%				100%					

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.40
再任用	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	19,140	23,016	22,777		
	会計年度任用職員	6,096	3,214	3,301		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	25,236	26,230	26,078		
	物件費計	54,400	51,752	63,235	67,273	94.0%
	歳出計	79,636	77,982	89,313		
歳入	国庫支出金	13,961	11,958	15,890	15,817	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	13,633	11,958	15,890	20,667	
	受益者負担（使用料、手数料）	516	1,089	1,040	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	1,040	1,260	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	28,110	25,005	33,860	37,744	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	26,290	26,747	29,375	29,529	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度の利用者人数は見込み数を下回っているが、病児保育室の受け入れ可能枠を維持することで、必要な時に病児保育室を利用できる体制を確保することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、病児保育事業の充実を図っていく。

事務事業名称	保育士等就職支援センター事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名	15-2.保育環境等の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	職業安定法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	保育士等の不足により、保育士等の確保が困難な保育所等。			
	サブターゲット	保育士資格を有する方で保育士として就業していない潜在保育士等。			
	ターゲットが抱える課題	昨今の保育士不足の状況により、保育士等の職員確保が困難である。			
	ターゲットが抱える課題	待機児童解消のため子どもの受け入れをしたいが、保育士不足により受け入れができない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保育所等からの、求人情報により、保育士等就職支援センターに登録された方を、それぞれの就労希望にあった施設に紹介し、マッチングにより各施設の安定的な保育士等の確保に繋がり、待機児童解消の一助となる状態。				
事業概要	①保育士等の再就職支援コーディネーターによるマッチング ・施設からの求人に応じた求職者の紹介 ・求職者のニーズにあった就職先の提案 ・求職者と雇用者双方のニーズ調整 ・市内保育所等に対する潜在保育士等の活用に関する助言 ②就職相談・就職セミナーの実施 ・就職相談 ・保育士のためのセミナーの開催				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	保育士等の資格を持ち、保育士等就職支援センターに登録されたすべての方が、それぞれの就労希望にあった働き方を実現するとともに、各施設の安定的な保育士等の確保に繋がり、待機児童解消の一助となる。	登録者に対し、就労希望に合った施設とのマッチングを実施する。				各施設からの求人に対応するため、保育士等の資格を持ち、かつ、自分の就労希望にあう施設を求める方による、保育士等就職支援センターへの登録を受け付ける。							
指標設定	指標説明	マッチング件数				施設での面接実施数				センターへの求職者登録件数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	20	21	22	23	39	40	41	42	62	63	64	65
	実績	30	36	33		56	60	76		76	117	75	
達成度	150%				185%				117%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.50
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,681	6,770	6,597		
	会計年度任用職員	1,102	1,327	1,416		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,783	8,097	8,013		
物件費計	268	196	267	390	68.5%	
歳出計	7,051	8,293	8,280			
歳入	国庫支出金	128	98	136	145	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	128	98	136	145	
一般財源（物件費に充当されるもの）	140	98	131	245		

5. 総括的分析

総括的分析	各指標数値は目標を上回り、成果を上げることができた。常設する窓口での相談業務に加え、商業施設や図書館等で開催する出張相談会を効果的に実施することで前年度並みの水準を保つことが出来た。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き出張相談会、保育士等の再就職支援のためのセミナー等を開催し、より多くの保育士を保育所等への就職につなげる。

事務事業名称	ふれあいルーム助成事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名	15-1.子育て支援の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2007(H19)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市ふれあいルーム事業助成金交付要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	保育所等に入所しておらず家で子育てをしている、又は保育所等に入所しているが、休日等に近所で子どもと過ごせる場を探している保護者。			
	サブターゲット	市内在住の乳幼児			
	ターゲットが抱える課題	子どもとその保護者の交流の場が無い事で、子育てに対する保護者の負担軽減や子育て力の向上が図られない。また、子どもが絵本に親しむ機会が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもとその保護者の交流の場を設ける事で、保護者のリフレッシュや子どもが絵本に親しむ機会をつくるとともに、子どものすこやかな成長につなげることができる状態。				
事業概要	本とふれあいながら親子の交流ができる場として、市民グループの運営により市内の図書館などで「ふれあいルーム」を開設。絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどを実施				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	保護者のリフレッシュや子どもが絵本に親しむ機会をつくるとともに、子どものすこやかな成長につなげることができる。				アウトプット (活動結果)	子どもとその保護者の交流、および休日に子どもと過ごす場を取得できる機会が増える。				インプット (活動)	市内8か所の図書館等で開設された「ふれあいルーム」の関連団体の事業実施を支援する。			
	指標説明	利用者へのアンケートで利用してよかったと答えた人の割合 【算出式: アンケートにて「利用して良かった」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				ふれあいルームを利用した延べ親子数				ふれあいルーム開設か所数					
指標設定	単位	%				単位	人				単位	か所			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	100	100	100	100	9,445	9,445	9,445	9,445	10	10	10	10		
実績	97	97	97		1,551	3,463	4,958		10	12	13				
達成度	97%				52%				130%						

3. 人員体制

	(人)
	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	399	786	781		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	399	786	781		
	物件費計	1,173	1,493	1,755	1,830	95.9%
	歳出計	1,572	2,279	2,536		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,173	1,493	1,755	1,830	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、定員を通常開催の2分の1としたため利用者が減少し、目標数値を下回った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	新型コロナウイルス感染症が感染症上5類感染症に移行したことに伴い、定員枠を緩和する。

事務事業名称	多胎児家庭育児支援事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名	15-1.子育て支援の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2012(H24)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市多胎児家庭育児支援事業実施要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	多胎児を養育している保護者			
	サブターゲット	0歳児から3歳未満の多胎児			
	ターゲットが抱える課題	多胎児を育児する保護者の精神的、身体的負担が大きい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	多胎児家庭の保護者の精神的、身体的負担が軽減され、ひいては子どものすこやかな成長につなげることができる状態。				
事業概要	①多胎児が出生から3歳に達する日の前日まで、食事及び授乳や沐浴等の介助のため、1回当たり2時間、年10回を上限に、ホームヘルパーを無料で派遣する。 ②多胎児が出生から3歳に達する日の前日まで、ファミリーサポートセンター利用料を年20時間を上限に補助する無料クーポンを交付する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	多胎児家庭の保護者の精神的、身体的負担が軽減され、ひいては子どものすこやかな成長につなげることができる。				アウトプット (活動結果)	登録世帯からのホームヘルパー派遣依頼に対し、適切に対応する。				インプット (活動)	対象世帯による、ホームヘルパー派遣に伴う、利用登録を受け付ける。			
	指標説明	多胎児家庭対象全世帯における登録世帯の割合 【算出式: 登録世帯数 / 多胎児家庭対象世帯数 × 100】				登録世帯における利用回数				ホームヘルパー派遣利用登録世帯数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	30	30	30	30	91	91	91	91	29	29	29	29		
	実績	38	39	39		63	70	55		30	29	40			
達成度	130%				60%				138%						

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		多胎児家庭の保護者の精神的、身体的負担が軽減され、ひいては子どものすこやかな成長につなげることができる。				ファミリーサポートセンター利用無料クーポンの発行手続きを適切に行うことで、登録世帯の当該施設を利用できる機会が増える。				対象世帯による、ファミリーサポートセンター利用無料クーポン発行のための利用登録を受け付ける。			
指標設定②	指標説明	多胎児家庭対象全世帯における登録世帯の割合 【算出式: 登録世帯数 / 多胎児家庭対象世帯数 × 100】				登録世帯における利用回数				ファミリーサポートセンター利用登録世帯数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	30	30	30	30	22	22	22	22	26	26	26	26
	実績	38	39	39		24	15	71		20	16	33	
	達成度	130%				323%				127%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.05
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	399	393	391		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	399	393	391		
	物件費計	379	420	449	1,529	29.4%
	歳出計	778	813	840		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	168	226	0	
	受益者負担 (使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	0	168	226	0	
	一般財源 (物件費に充当されるもの)	379	252	223	1,529	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度から、ファミリーサポートセンターの利用料補助について、対象年齢を引き下げたことや、クーポン制度を導入して利用手続きを簡略化したことで、利用回数が目標値に対して大きく上回る結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、登録世帯数及び利用回数の増加に向け、必要な取り組みを進めていく。

事務事業名称	地域子育て支援事業												
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名	15-1.子育て支援の充実											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1998(H10)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	児童福祉法第6条の2第6項・枚方市地域子育て支援拠点事業実施要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	保育所(園)等に入所していない、子どもの保護者			
	サブターゲット	保育所(園)等に入所していない子ども			
	ターゲットが抱える課題	子育て親子の交流の場が少なくなり、子育て相談や地域の子育てに関する情報を受けられなくなることで、子育ての不安感等が増加している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子育て親子の交流の場を設け、子育て相談や地域の子育てに関する情報を提供することで、子育ての不安感等が軽減し子どものすこやかな成長につなげることができる状態。				
事業概要	<p>私立保育所(園)7カ所、公立保育所3カ所、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん、広場さぶりの計13カ所において、子育て親子の交流の場の提供、相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、講習等を実施する「地域子育て支援拠点事業」を実施する。その内、週5日型8施設においては、子育てサークルへの支援や子育て支援者育成、世代間交流など、地域全体での子育て親子の育ちの支援に関する取り組み(地域機能強化型事業)を実施する。</p> <p>「ファミリーサポートセンター事業」として、依頼会員・提供会員間の相互援助活動のサポートを行うとともに、2歳未満の家庭を対象に「無料体験事業」を実施する。</p> <p>全認可保育所(園)等において、生後5～8カ月の間の1回と1歳の誕生日に、全ての親子を対象に保育所を体験してもらう「保育所(園)ふれあい体験事業」と、その内1歳の誕生日参加者に、絵本の読み聞かせと絵本1冊をプレゼントする「枚方版ブックスタート事業」を実施する。</p> <p>「親支援講座」(1講座4回連続)を実施する。「ひらかた子育て応援ナビ」や「子育て応援アプリ」を活用し、子育てに役立つ情報提供を行う。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	子育ての不安感等が軽減し子どものすこやかな成長につなげることができる。				アウトプット (活動結果)	子育てに不安を感じている保護者等が参加できる機会が増える。				インプット (活動)	市内施設にて、講習等を実施する。			
	指標説明	利用者へのアンケートで利用してよかったと答えた人の割合 【算出式:参加者へのアンケートで「参加して良かった」と答えた人数 / アンケート回答者数 × 100】				地域子育て支援拠点施設利用者数	地域子育て支援拠点施設数								
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		実績	97	98	98		24,752	33,936	49,256		13	13	13		
	達成度	98%				69%				87%					

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		子育ての不安感等が軽減し子どものすこやかな成長につなげることができる。				2歳未満児の保護者が無料体験を機に、保育について再考する機会が増える。				広場さぶりのファミリーサポートセンターにおいて、2歳未満の家庭を対象に「無料体験事業」を実施する。			
指標設定 ②	指標説明	利用者へのアンケートで利用してよかったと答えた人の割合 【算出式:参加者へのアンケートで「参加して良かった」と答えた人数/アンケート回答者数×100】				ファミリーサポートセンターにおける無料体験利用者数				無料体験クーポン発行人数			
		単位		%		単位		人		単位		人	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	100	100	100	100	123	129	135	141	295	305	305	305
	実績	97	98	98		107	106	180		284	288	409	
	達成度	98%				133%				134%			
ロジックモデル③		子育ての不安感等が軽減し子どものすこやかな成長につなげることができる。				対象の保護者が、ふれあい体験を機に、保育について再考できる機会が増える。				認可保育所(園)等において、生後5~8カ月の間の1回と1歳の誕生日に、全ての親子を対象に保育所を体験してもらう「保育所(園)ふれあい体験事業」を実施する。			
指標設定 ③	指標説明	利用者へのアンケートで利用してよかったと答えた人の割合 【算出式:参加者へのアンケートで「参加して良かった」と答えた人数/アンケート回答者数×100】				ふれあい体験事業参加者数				保育所(園)ふれあい体験事業実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	100	100	100	100	1,623	1,623	1,623	1,623	24	24	24	24
	実績	97	98	98		1,006	984	1,323		12	19	24	
	達成度	98%				82%				100%			
ロジックモデル④		子育ての不安感等が軽減し子どものすこやかな成長につなげることができる。				対象者が、子育てに関する情報を取得できる機会が増える。				「親支援講座」を実施する。			
指標設定 ④	指標説明	利用者へのアンケートで利用してよかったと答えた人の割合 【算出式:参加者へのアンケートで「参加して良かった」と答えた人数/アンケート回答者数×100】				親支援講座参加者数				親支援講座実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	100	100	100	100	200	240	240	240	10	12	12	12
	実績	97	98	98		66	69	129		6	7	12	
	達成度	98%				54%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.50
再任用	1.80
任期付職員	4.00
会計年度任用職員	2.35
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	45,541	51,346	45,713		
	会計年度任用職員	2,965	2,615	5,275		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	48,506	53,961	50,988		
	物件費計	79,215	81,254	81,084	82,473	98.3%
	歳出計	127,721	135,215	132,072		
歳入	国庫支出金	23,476	24,554	24,831	23,678	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	23,452	24,554	24,831	24,578	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	219	147	406	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	46,928	49,327	49,809	48,662	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	32,287	31,927	31,275	33,811	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業を縮小して開催したことにより、各指標数値が目標に対して大きく下回る結果となったが、子育てイベントの中止を要請する期間が無かったことや、十分に人と人の距離を確保できる範囲で定員枠緩和の見直しを行ったことで、概ね前年度と比較して数値を増加させることができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	新型コロナウイルス感染症が感染法上5類感染症に移行したことに伴い、定員枠を緩和する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	乳児家庭全戸訪問事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名	15-1.子育て支援の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2010(H22)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	児童福祉法第6条の2第4項				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	生後4ヶ月までの新生児の保護者			
	サブターゲット	生後4ヶ月までの新生児			
	ターゲットが抱える課題	周囲に子育てを助けてくれる知人等がおらず、子育てに不安や負担を感じている保護者が増加している。			
	ターゲットが抱える課題	子育てへの孤立感等から虐待等に発展するケースがある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	虐待等の早期発見につなげるとともに、各種子育て支援情報の提供により子育ての不安感、負担感を解消し子どものすこやかな成長につなげることができる状態。				
事業概要	生後4か月までの乳児のいる全家庭(保健センターによる新生児家庭訪問実施家庭を除く)の訪問を行い、育児に関する不安、悩みの傾聴及び相談、子育ての支援に関する情報の提供、乳児とその保護者の心身の状況と養育環境の把握を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			訪問を通じて、虐待等の早期発見につなげるとともに、各種子育て支援情報の提供により子育ての不安感、負担感を解消し子どものすこやかな成長につなげることができる。				対象者に対し、訪問のうえ、育児に関する不安や悩みの傾聴、及び相談等を行う。			
指標設定	指標説明		訪問対象者に対する面着対応者数の割合 【算出式:面着対応者数/訪問対象者数×100】				訪問者数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		85.84	87.03	88.25	89.48	1,732	1,784	1,785	1,786
	実績		88	86.60	85.50		1,817	1,953	1,894	
達成度		97%				106%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	798	786	781		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	798	786	781		
	物件費計	11,514	11,230	11,177	11,230	99.5%
	歳出計	12,312	12,016	11,958		
歳入	国庫支出金	3,838	3,743	3,725	3,708	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	3,838	3,743	3,725	4,845	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	7,676	7,486	7,450	8,553	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	3,838	3,744	3,727	2,677	

5. 総括的分析

総括的分析	各指標数値は概ね目標を達成し、成果を上げることができた。年間3回実施する訪問員研修にて、訪問員同士の交流を行うことで訪問時の対象者への接し方、情報提供方法等の技術を共有でき、子育てに不安や負担を感じている保護者への支援をより丁寧に行うことができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	令和4年度途中から開始した枚方市出産・子育て応援事業により乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)にて訪問する対象家庭が減少している。これを受け、より効果的な手法を検討し、従来までの実施手法の見直しを行う。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	臨時保育室整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	R2年度(2020年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	児童福祉法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	保育所等に入所できない待機児童			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	希望する時期に保育所等に入所することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保育所等に入所を希望する児童全てが入所することができる。				
事業概要	<p>希望する施設を利用できない児童の通年のゼロを目指し、転入や育児休業明けの年度途中等での保育需要の増加に対応するため、認可保育所等に申込みをされている方で、待機となっている児童など保育の必要性が高く、かつ緊急性の高い児童を受け入れる臨時保育室を公共施設等を活用して設置する。</p> <p>南部地域においては、「さだ西幼稚園」、中部・北部地域においては「渚西保育所」を活用して開設し、通年での待機児童の解消を図る。</p> <p>令和4年度当初に北部地域において国定義の待機児童が発生し、待機児童対策が急務であることから、「くずは光の子保育園(分園)」の遊戯室の一部を活用し、令和5年4月から臨時保育室事業を実施する。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		待機児童が減少する				開設により、年度途中等での受入れ枠が増加する				「さだ西幼稚園」を活用して臨時保育室を開設する			
指標設定	指標説明	臨時保育室設置後の待機児童数				南部地域の年度途中等での受入れ枠の数				南部地域の臨時保育室設置箇所数			
		単位		人		単位		人		単位		人	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	0	0	0	0	0	50	50	50	0	0	1	1
	実績	348	164	110		0	50	50		0	1	1	
	達成度	0%				100%				-			
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		待機児童が減少する				開設による年度途中等での受入れ枠の増加数				「渚西保育所」を活用して臨時保育室を開設する			
指標設定②	指標説明	臨時保育室設置後の待機児童数				中部・北部地域の年度途中等での受入れ枠の数				中部・北部地域の臨時保育室設置箇所数			
		単位		人		単位		人		単位		箇所	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	0	0	0	0	-	-	50	50	-	-	1	1
	実績	348	164	110		-	-	50		-	-	1	
	達成度	0%				100%				100%			

ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		待機児童が減少する				開設による年度途中等での受入れ 枠の増加数				「くずは光の子保育園(分園)」を 活用して臨時保育室事業を実施する			
指標 設定 ③	指標説明	臨時保育室設置後の待機児童数				北部地域の年度途中等での受入 れ枠の数				北部地域の臨時保育室事業実施 数			
		単位		人		単位		人		単位		箇所	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	0	0	0	-	-	0	15	-	-	0	1
	実績	348	164	110		-	-	0		-	-	0	
達成度	0%												

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,791	786	2,344		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,791	786	2,344		
物件費計	5,225	89,803	25,800	25,800	100.0%	
歳出計	8,016	90,589	28,144			
歳入	国庫支出金	0	16,000	7,340	7,773	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	660	858	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	16,000	8,000	8,631	
一般財源（物件費に充当されるもの）	5,225	73,803	17,800	17,169		

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年3月末で閉園する「渚西保育所」を活用して臨時保育室を開設するため、施設改修を行い、令和4年10月に「枚方市立渚西臨時保育室」を開設した。また、令和4年4月1日現在で国の定義に基づく待機児童数は北部エリアで9人、希望する施設を利用できていない児童数は265人となった。このことを踏まえ、北部エリアの待機児童解消を目指し、くずは光の子保育園（分園）の遊戯室等の一部改修し、令和5年4月から臨時保育室を開設した。開設により、着実な待機児童対策を行うことができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、待機児童対策に向け、必要な手続きを進めていく。

事務事業名称	一時預かり補助事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名	15-2.保育環境等の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1992(H4)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市一時預かり事業補助金交付要綱・子ども・子育て支援交付金交付要綱				
関係補助金名称	枚方市一時預かり事業補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	育児疲れでリフレッシュを必要としたり、就労や就学、病気や出産等の理由で一時的に子どもの保育が困難な保護者			
	サブターゲット	保護者の育児疲れやリフレッシュ、就労や就学、病気や出産等のため、保育所での一時預かりを利用する子ども			
	ターゲットが抱える課題	希望する時期に保育所等に入所することができない。			
	ターゲットが抱える課題	子どもが保育所等に入所していないが、育児に疲れ、就労等で家庭での保育が困難な状況			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	育児疲れによるリフレッシュや、短時間の就労・就学等を行う間、子どもを預けることができる状態。				
事業概要	一時預かりを実施する私立保育所(14か所)に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。 光の峰保育園、親愛保育園、常称寺保育園、長尾保育園、くずはあけぼの保育園、村野保育園(分園)、牧野保育園、青桐保育園(本園)、第2長尾保育園、三矢ゆりかご保育園、宇山光の子保育園、さだ保育園、枚方たんぼ保育園、みずき敬愛保育園。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	リフレッシュや短時間の就労、就学などで保護者が保育できないときに、一時預かり事業を利用することができる。 「一時預かりリフレッシュ券」を使って一時預かりを利用したことをきっかけに、その後の継続利用に繋がる。	一時預かりを利用できる環境を整えることで、保育所等に入所していないが、一時的に保育が必要となる可能性がある子どもの受け入れが可能となる。 子どもを家庭で保育する保護者が一時預かりを利用するきっかけとなる。				一時預かりを実施している私立保育所に補助金を交付することにより、一時預かりを利用できる環境を整える。 在宅で子育てをしている保護者を対象に、子ども一人につき、2日分の一時預かりが利用できる「一時預かりリフレッシュ券」(無料クーポン)を配付する							
指標設定	指標説明	一時預かり事業の延べ利用者数(第2期子ども・子育て支援事業計画の目標事業量)				一時預かり事業登録者数				一時預かり実施施設数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	24,990	24,489	23,999	23,521	6,967	6,368	5,827	5,337	14	14	14	14
達成度	79%				112%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.90
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,785	6,286	7,031		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,785	6,286	7,031		
	物件費計	52,676	54,827	65,516	78,394	83.6%
	歳出計	57,461	61,113	72,547		
歳入	国庫支出金	17,588	17,812	12,740	12,681	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	17,588	18,784	12,740	16,569	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	35,176	36,596	25,480	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	17,500	18,231	40,036	49,144	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあったが、令和4年9月以降にリフレッシュ目的で一時的預かりを利用する際に2日分無料で使える券（リフレッシュ券）配布などを行い、利用者数は日単位、月単位とも前年度より増加した。また、本来の一時的預かり事業の利用児童数が定員に満たず恒常的に空いている枠に、保育所等の入所が決まるまでの間に限り、保護者のフルタイム就労等で保育の必要性が高い待機児童を定期的に預かる「就労応援型預かり保育」も引き続き実施した。就労応援型預かり保育の利用者は増加基調にあることから、利用者は増加しており、保護者の保育ニーズに応えながら待機児童の解消を図った。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、保育ニーズを満たすよう取り組みを進めることとする。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 457

事務事業名称	私立保育所職員研修費補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1993(H5)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市私立保育所職員研修費補助金交付要綱				
関係補助金名称	枚方市私立保育所職員研修費補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市私立保育園連盟関係者			
	サブターゲット	枚方市内の保育所(園)等に入所している児童			
	ターゲットが抱える課題	保育士等の資質向上や、保育現場における様々な課題への対応が必要			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	研修費用を補助することで、保育現場の現状に対する課題に即した研修やニーズに沿った研修を実施することができ、本研修を経て、保育士等の資質向上および保育現場における様々な課題への対応が出来るようになる状態。				
事業概要	1979年度から枚方市私立保育園連盟へ研修事業を委託していたが、1993年度から職員の資質及び保育内容の向上を図るため、枚方市私立保育園連盟に研修費の補助を交付している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		研修を経て、保育士等の資質向上および保育現場における様々な課題への対応が出来るようになる。				私立保育所職員の研修を受ける機会が増える。				枚方市私立保育園連盟に研修費を補助することにより、研修事業が活発化する。			
指標設定	指標説明	研修参加者による研修の満足度 【算出式: アンケートにて「参加して良かった」と回答した人数/回答者数×100】				研修参加延べ人数				補助金を活用した研修の実施回数			
		単位		%	単位		人	単位		回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	357	357	357	357	2	2	2	2
	実績	0	90.20	100		126	152	278		4	3	4	
	達成度	100%				78%				200%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.05
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	399	393	391		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	399	393	391		
	物件費計	450	323	400	400	100.0%
	歳出計	849	716	791		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	450	323	400	400	

5. 総括的分析

総括的分析	実施回数は安定して目標値を達成し、研修参加延べ人数も昨年度と比較し80%程度増加した。本補助事業における「めざす姿」である「保育士等の資質向上」が図られ、「保育現場における様々な課題への対応」について知見を深めることができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	補助金交付申込み時や実績報告時における研修内容の審査等を通し、参加人数の増加及び研修内容の充実を図る。

事務事業名称	私立保育所等機能充実補助事業													
測定年度	2022(R4)年度				部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	～	年度まで	
根拠法令等	保育所等機能充実補助事業、子ども未来部、子ども未来部、子ども未来部、子ども未来部、子ども未来部					
関係補助金名称	①私立保育所等機能充実補助		サンセット	2023(R5)年度	～	2025(R7)年度
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	支給認定子どもに対し、教育・保育を行う施設関係者				
	サブターゲット	支給認定子ども及びその保護者				
	ターゲットが抱える課題	利用者のニーズや子どもの状況等に応じて、児童一人ひとりに対し、よりきめ細やかな質の高い保育を提供する必要がある				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	児童一人ひとりに対し、よりきめ細やかな質の高い保育の提供することで、仕事と家庭の両立支援や子どもの健やかな成長につなげることができる状態。					
事業概要	<p>各施設の設置者に対して、以下の内容について予算の範囲内で補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘱託医手当加算・運営費加算・病児・病後児保育補助・開所時間推進費補助・障害児保育補助 ・延長保育事業費補助・食物アレルギー対策費補助・夜間保育事業費補助・地域子育て支援補助 ・保育士等確保・定着支援事業補助・医療的ケア児保育支援事業補助 等 <p>令和4年度から、私立保育施設における保育環境をより充実したものとなるよう以下の2項目を追加する。</p> <p>①保育所等における感染症のための改修整備等 保育施設における新型コロナウイルス感染症対策の一環として国の保育所等整備交付金を活用し、より衛生管理を向上させ、保育所運営を継続できるよう、感染症対策のための改修(トイレ・調理場の乾式化など)を行う施設を対象に必要な経費を補助するもの。</p> <p>②1号認定子どもに係る障害児保育補助事業((福)認定子ども園に限る) 障害を持つ1号認定子どもに職員を配置した施設に対し人件費相当分の補助を行う。</p>					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	児童一人ひとりに対し、よりきめ細やかな質の高い保育の提供をすることで、仕事と家庭の両立支援や子どもの健やかな成長につなげることができる。				アウトプット (活動結果)	補助金の交付により、各施設における保育内容が充実できる。				インプット (活動)	各施設に対して、各補助対象事業の実績に応じて補助金を交付する。			
	指標説明	予定されていた各補助金メニューのうち実施の実績報告を受けた割合				各保育所(園)から申込を受け付けた補助金メニューの延べ件数				補助金メニューの件数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	83	100	100	100	59	381	372	390	63	13	13	13		
	実績	83	100	100		72	400	409		63	14	14			
達成度	100%				110%				108%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,368	10,214	11,718		
	会計年度任用職員	2,156	2,836	2,720		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,524	13,050	14,438		
	物件費計	1,521,055	1,577,467	1,654,600	1,726,478	95.8%
	歳出計	1,533,579	1,590,517	1,669,038		
歳入	国庫支出金	86,284	145,934	152,101	158,332	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	144,996	63,239	62,924	78,221	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	231,280	209,173	215,025	236,553	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,289,775	1,368,294	1,439,575	1,489,925	

5. 総括的分析

総括的分析	国・府の制度を活用し、各施設に対し支障なく補助金の交付を行うとともに、感染症対策のための改修整備や1号認定子どもに係る障害児保育補助に対して新たに補助金を交付し、保育環境をより充実させることで、児童の地域生活支援の向上を図った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	各施設に対して各補助対象事業の実績に応じて補助金を交付し、引き続き保育の充実を図る。

事務事業名称	私立保育所等施設整備補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名	15-2.保育環境等の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	<small> 女心こども基金管理運営条例、大阪府女心こども基金付加対策事業補助金交付条例、保育所等整備費補助金交付条例、 女心こども基金付加対策事業補助金施設整備費補助金交付要綱 </small>				
関係補助金名称	備前付金 大阪府認定こども施設整備費補助金		サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	保育所等に入所している子ども、及び保育所等に入所できていない子どものうち、保育を必要とする児童			
	サブターゲット	私立保育所・幼保連携型認定こども園を運営している法人関係者			
	ターゲットが抱える課題	保育所等に入所したいと考えているが、空きがないため入所できず、待機児童となっている。			
	ターゲットが抱える課題	保育所・幼保連携型認定こども園の施設の老朽対策や定員増を検討する際に、金銭的な負担が大きい。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保育所・幼保連携型認定こども園の施設整備に合わせて定員増を行うことで、待機児童の受入が可能となる状態。				
事業概要	保育所の老朽化に伴う増改築等とあわせて定員増を行う私立保育所の設置者及び幼保連携型認定こども園へ移行するために保育所機能部分の整備を行う施設の設置者に対して、予算の範囲内で補助金を交付する。 防犯対策の強化のための整備を行う私立保育所、認定こども園に対して、予算の範囲内で補助金を交付する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	定員増により、保育所の受け入れ枠が増えることにより、待機児童解消の一助となる。				アウトプット (活動結果)	補助金交付により、整備を行った施設の定員が増加する。				インプット (活動)	私立保育所の設置者に対し、補助金を交付することで、保育所の老朽化に伴う増改築等の環境改善を行う。			
	指標設定	指標説明	待機児童数				施設整備に伴う増加定員数				施設整備補助金事業による施設整備により保育環境が改善(完了)された施設数				
		指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
		指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		達成度	0				50				5				
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	定員増により、保育所の受け入れ枠が増えることにより、待機児童解消の一助となる。				アウトプット (活動結果)	補助金交付により、整備を行った施設の定員が増加する。				インプット (活動)	幼保連携型認定こども園へ移行するために保育所機能部分の整備を行う施設の設置者に対して補助金を交付する。			
	指標設定②	指標説明	待機児童数				施設整備に伴う増加定員数				施設整備により環境が改善(完了)された施設数				
		指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
		指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		達成度	259				0				0				

ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		定員増により、保育所の受け入れ枠が増えることにより、待機児童解消の一助となる。				補助金交付により、安全な保育環境を確保し、整備を行った施設が引き続き受け入れを行う。				防犯対策の強化のための整備等を行う私立保育所、認定こども園に対して、予算の範囲内で補助金を交付する。			
指標設定 ③	指標説明	待機児童数				施設整備実施施設の定員数				施設整備により環境が改善(完了)された施設数			
		単位 人				単位 人				単位 施設			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	0	0	0	0	0	0	1,065	18	0	0	10
	実績	259	265	194		1,705	1,635	620		16	15	6	
達成度	0%												

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.45
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	6,380	3,536	3,515		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,380	3,536	3,515		
	物件費計	538,434	868,375	33,664	33,665	100.0%
歳出計		544,814	871,911	37,179		
歳入	国庫支出金	372,173	661,305	15,991	15,991	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	4,239	20,730	3,386	3,386	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	125,400	145,300	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入計(物件費に充当される特定財源)		501,812	827,335	19,377	19,377	
一般財源(物件費に充当されるもの)		36,622	41,040	14,287	14,288	

5. 総括的分析

総括的分析	民営化に伴う施設整備1件、感染症対策2件、防犯対策5件、防音壁設置1件の補助事業を行い、施設の老朽化対策やより安全・安心な保育環境の提供に寄与した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	待機児童の状況や今後の保育ニーズに対応し、通年の待機児童ゼロの早期実現に向けて、様々な手法に取り組む。

事務事業名称	私立幼稚園等幼児教育充実補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2012(H24)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市私立幼稚園等幼児教育充実事業費補助金交付要綱				
関係補助金名称	枚方市私立幼稚園等幼児教育充実事業費補助		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内に所在しており、特色ある幼児教育を実施している私立幼稚園及び私立認定こども園			
	サブターゲット	市内に所在している私立幼稚園及び私立認定こども園へ通っている児童			
	ターゲットが抱える課題	配慮を要する幼児のために、幼児教育全般の環境の改善及び充実が必要			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	配慮を要する幼児のために職員を加配し、幼児教育全般の環境の改善及び充実を図ることにより幼児の健やかな成長と学びを支援することが出来る状態。				
事業概要	枚方市私立幼稚園等幼児教育充実事業費補助金交付要綱に基づき、以下のいずれかの要件を満たす場合、当該職員の人件費を補助の対象とするもの。 1.「支援教育学校園支援事業(幼稚園巡回相談)」を活用しながら配慮を要する幼児(大阪府私立幼稚園等特別支援教育費補助の対象ではない幼児)に職員を加配すること。 2.配慮を要する幼児(大阪府私立幼稚園等特別支援教育費補助の対象ではない幼児)のために職員を加配し、その旨を園長が申請すること。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		【令和4年度以降】 配慮を要する幼児のために職員を加配し、幼児教育全般の環境の改善及び充実を図ることにより幼児の健やかな成長と学びを支援することができる状態。				【令和4年度以降】 補助金の交付により、各施設において配慮を要する幼児のために幼児教育全般の環境の改善及び充実を図ることができる。				【令和4年度以降】 私立幼稚園等設置者から事業の補助金交付申請を受け付ける。			
指標設定	指標説明	配慮を要する幼児のために職員を加配している施設の割合				補助金交付件数				補助金交付申請件数			
		単位 %				単位 件				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	-	100	100	-	-	14	15	-	-	14	15
	実績	-	-	100		-	-	14		-	-	14	
	達成度	100%				100%				100%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		【令和3年度まで】 各園の特色を持った幼児教育の充実を図ることで、保護者の様々なニーズに応えるとともに、児童のすこやかな成長につなげることができる。				【令和3年度まで】 申請に対して、適切な審査の上、適当と認められる事業に対し、補助金を交付する。				【令和3年度まで】 私立幼稚園等設置者から事業の補助金交付申請を受け付ける。			
指標設定②	指標説明	本事業を利用した子どもの延べ人数				実施要領で定めた補助対象事業(4事業)の実施件数				補助金交付申請件数			
		単位		人		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	4,339	4,339	-	-	47	47	-	-	18	18	-	-
	実績	14,820	14,247	-	-	41	39	-	-	17	17	-	-
達成度	-				-				-				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	399	786	781		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	399	786	781		
	物件費計	4,818	4,657	4,200	6,000	70.0%
歳出計		5,217	5,443	4,981		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)		4,818	4,657	4,200	6,000	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度より交付要綱の見直しを行い、事業内容を変更した。
-------	-------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き幼児教育全般の環境の改善及び充実を図るよう取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	小規模保育施設整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名	15-2.保育環境等の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	子ども・子育て支援法、保育対策総合支援事業補助金交付要綱、安心こども基金管理運営要領、大阪府安心子ども基金特別対策事業補助金交付要綱、				
関係補助金名称	保育対策総合支援事業補助金・安心子ども基金特別対策事業補助金		サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	保育所等に入所できていない子どものうち、保育を必要とする児童			
	サブターゲット	小規模保育事業の開設を検討している法人及び市(公立施設の場合)			
	ターゲットが抱える課題	保育所等に入所したいと考えているが、空きがないため入所できず、待機児童となっている。			
	ターゲットが抱える課題	民間法人等が小規模保育事業の開設を検討する際に、金銭的な負担が大きい。開設する場所がない。			
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	民間法人等に対し、小規模保育事業の整備・開設に伴う補助を行うとともに、公立の小規模保育施設を開設することで、3歳未満児の定員を拡大し、適切な保育環境を提供することができる状態。				
事業概要	平成29年度からの小規模保育事業の実施に向けて、旧枚方区検察庁舎(4月開設)及び北部支所(7月開設)の整備を行う。 社会福祉法人による小規模保育事業の開設(平成30年4月開設)に対して、施設整備等に係る補助を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		定員増により、3歳未満児の受け入れ枠が増えることにより、待機児童解消の一助となる。				小規模保育事業の整備・開設により、3歳未満児の定員が増加する。				事業者に対し、補助金を交付することで、新たな小規模保育事業実施施設の開設を行う。			
指標設定	指標説明	待機児童数				小規模保育事業開設に伴う増加定員数				小規模保育事業整備補助金事業による施設整備により開設された施設数			
		単位		人		単位		人		単位		件	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
達成度													
ロジックモデル②		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル②		定員増により、3歳未満児の受け入れ枠が増えることにより、待機児童解消の一助となる。				小規模保育施設の開設により、3歳未満児の定員が増加する。				公立の小規模保育施設を開設する。			
指標設定②	指標説明	待機児童数				公立の小規模保育施設の開設に伴う増加定員数				計画上の公立の小規模保育施設開設数			
		単位		人		単位		人		単位		施設	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
達成度	0%												

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	0		
	物件費計	431	490	576	600	96.0%
	歳出計	431	490	576		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	398	490	576	600	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	398	490	576	600	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	33	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>通年での待機児童の解消に向け、私立小規模保育事業実施施設において整備を伴わない7名の定員増を行ったが、いわゆる潜在的待機児童を含む194人の待機児童が発生した。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取り組み方針	<p>これまでの実績及び他の整備補助事業とターゲットや事業概要等が類似していることを考慮し、令和5年度からは「私立保育所等施設整備補助事業」に統合することとする。</p>

事務事業実績測定調書

R4調書番号 469

事務事業名称	一時預かり補助事業(幼稚園型)											
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名	15-2.保育環境等の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市一時預かり事業(幼稚園型)補助金交付要綱・枚方市私立幼稚園一時預かり事業補助金交付要綱・枚方市私立幼稚園預かり保育事業補助金交付要綱				
関係補助金名称	①一時預かり事業補助金 ②私立幼稚園預かり保育事業補助金 ③私立幼稚園一時預かり事業補助金		サンセット	①②2023(R5)年度③2021(R3)年度	～ ①②2025(R7)年度③2023(R5)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	私立の幼稚園、認定こども園の教育部分等に子どもを預けている保護者。			
	サブターゲット	私立の幼稚園、認定こども園の教育部分に在園する子ども等(1号認定児)。			
	ターゲットが抱える課題	保護者の就労や日常生活上の突発的な事情、育児疲れ等による負担軽減などから、私立幼稚園・認定こども園の教育部分等に在園する子どもの保護者においても、教育時間を超えた長時間の預かりが求められる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	保護者の多様な就労や社会参加の機会が確保されるとともに、保護者の心理的・身体的負担の軽減等が図られる状態。				
事業概要	<p>私立幼稚園・認定こども園の教育部分に在園する子どもに対し、教育時間前後の預かり保育を実施している施設へ補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時預かり事業(幼稚園型Ⅰ):くずはローズ幼稚園、明善めぐみ園、うみのほし幼稚園、春日丘幼稚園、勝山愛和香里ヶ丘幼稚園、鴻池学園第二幼稚園、鴻池学園第三幼稚園、清香学園幼稚園、報徳幼稚園、うらら幼稚園 一時預かり事業(幼稚園型Ⅱ):春日東野幼稚園 枚方市私立幼稚園預かり保育事業:春日東野幼稚園、浄幼稚園、楠京阪幼稚園、くずは青葉幼稚園、敬応学園幼稚園、長尾幼稚園、東香里丘幼稚園、牧野幼稚園、みょうぜん幼稚園 				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		私立幼稚園等の一時預かりを通じて、保護者の多様な就労や社会参加の機会が確保されるとともに、保護者の心理的・身体的負担の軽減等が図られる状態				一時預かりの複数回利用を可能にすることで、さらに一時預かりを利用できる機会が増える。				私立幼稚園等の一時預かりに補助金を交付することにより、一時預かりを利用できる環境を整える。			
指標設定	指標説明	一時預かり事業延べ利用者数(第2期子ども・子育て支援事業計画の目標事業量)				一時預かり事業利用対象者数				一時預かり実施施設数			
		単位 人				単位 人				単位 施設			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	211,605	213,811	216,025	218,264	4,139	4,139	4,139	4,139	20	20	20	20
実績	190,578	207,315	212,838		3,965	3,794	4,591		19	19	18		
達成度	99%				111%				90%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,393	2,357	2,344		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,393	2,357	2,344		
物件費計	55,423	56,298	62,872	84,469	74.4%	
歳出計	57,816	58,655	65,216			
歳入	国庫支出金	14,951	15,404	13,330	13,269	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	14,951	15,404	13,330	17,337	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	29,902	30,808	26,660	30,606	
一般財源（物件費に充当されるもの）	25,521	25,490	36,212	53,863		

5. 総括的分析

総括的分析	実施施設数は施設の閉鎖により減少したが、1園あたりの利用対象者数が増加したことに伴い、延べ利用者数は概ね想定通りとなり、保護者の就労の機会の確保等に繋げることができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き事業を継続することで、保護者の就労の機会の確保を行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 874

事務事業名称	私立保育幼稚園課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の円滑な運営ができる状態。				
事業概要	予算及び決算に関する事務、照会回答事務、物品購入、物品管理事務、文書の收受、発送、管理事務など。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,368	12,571	12,499		
	会計年度任用職員	2,055	2,026	2,122		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,423	14,597	14,621		
	物件費計	131,518	299,126	293,919	306,205	96.0%
	歳出計	143,941	313,723	308,540		
歳入	国庫支出金	23,479	23,546	24,699	35,648	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	17,021	11,774	12,350	17,825	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	8	9	10	7	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	40,508	35,329	37,059	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	91,010	263,797	256,860	252,725	

5. 総括的分析

総括的分析	必要な事務処理を行い、私立保育幼稚園課の円滑な運営を行った。 また、抗原検査キットを購入し、必要に応じて所管施設へ配布することで、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めたほか、所管施設に対し、新型コロナウイルス感染症に係る物価高騰に対応する光熱費等の補助を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	適正かつ適切な業務運営に努める。